

# 6 地球のはなし

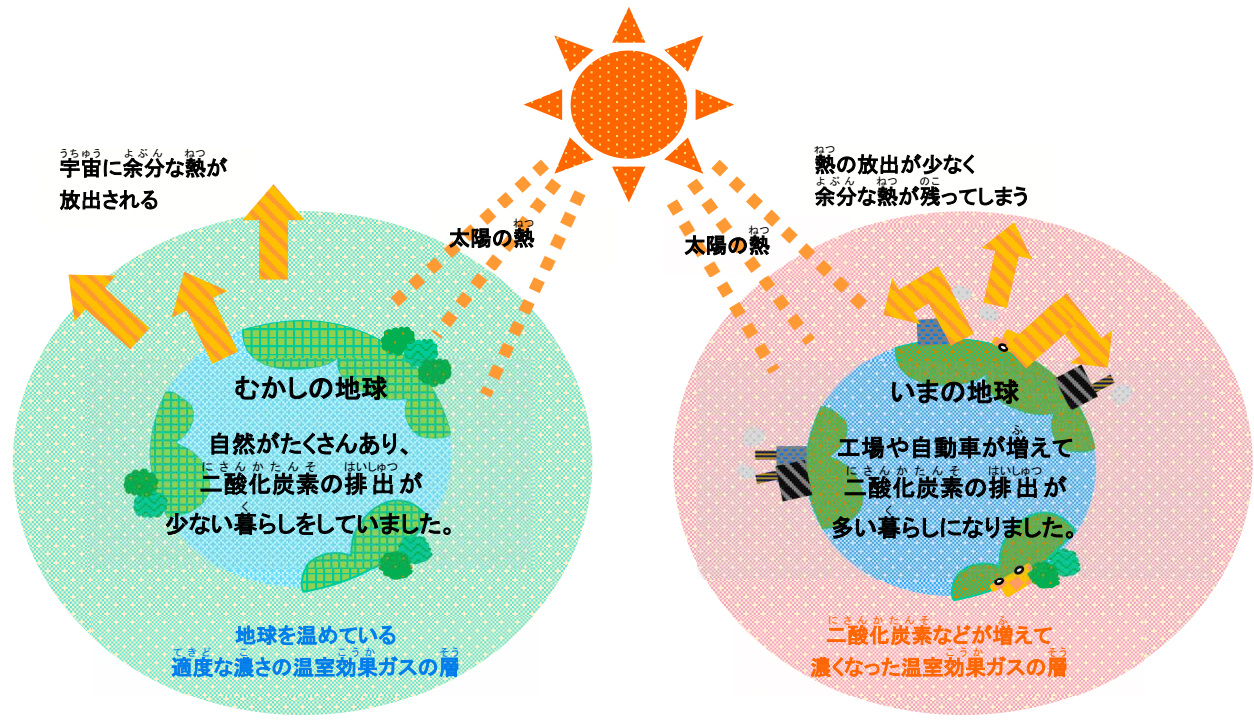


↑地球の抱える環境問題の一例

地球ができたのは、約46億年前、生き物が生まれたのが約35億年前、人類の祖先が誕生したのは数百万年前といわれています。

そして、わずか200年ほど前に産業革命が起こり多くの機械が発明され、石炭や石油を使う産業が生まれました。わたしたち人間は、豊かな生活を求めて、地球の資源やエネルギーをどんどん使い始めました。

このようにして、わたしたちの生活は便利になりましたが、一方で、空気や川をよごしたり、たくさん木を切ったりして、地球に大きな負担をかけてきました。わたしたちがこれまでのようなことを続けると、やがてわたしたちや次の世代の人々が、安全で健康に暮らすことができなくなると心配されています。



↑地球温暖化がおこるしくみ

## おんだんか (1) 地球温暖化

昔と今の地球を比べてみましょう。地球は、太陽の熱で温められ、大気に吸収される熱と宇宙に出ていく熱がつりあっていて、ほどよい気温に保たれています。

ところが、温室効果ガスが増えてきて、宇宙に出ていた熱までも吸収してしまい、地球の気温がだんだん上がってきています。

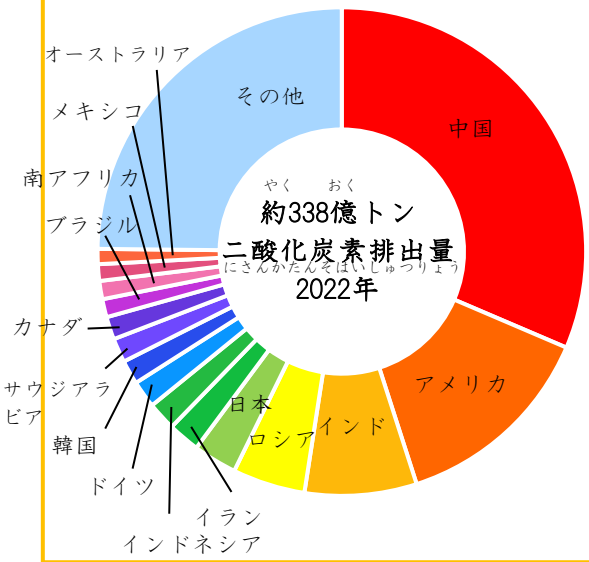
**さんこう**

**温室効果ガス**

熱を吸収して地球の気温を上げる性質を持った気体のこと。日本が出す温室効果ガスのうち、約92%が二酸化炭素です。

## 二酸化炭素はどれくらい出ているの

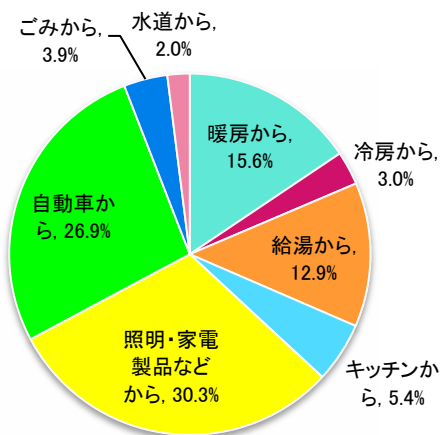
令和4年(2022年)にエネルギーを使うことで発生した二酸化炭素の量は世界で約338億トンでした。そのうち、日本から出た二酸化炭素は、2.9%で、世界で5番目に多く出しています。



\*単位：100万t-CO2

国名	排出量*	国名	排出量*
中国	10,613	韓国	549
アメリカ	4,608	サウジアラビア	533
インド	2,517	カナダ	523
ロシア	1,623	ブラジル	414
日本	974	南アフリカ	394
イラン	696	メキシコ	380
インドネシア	652	オーストラリア	355
ドイツ	612	他	8,369

出典：EDMC/エネルギー・経済統計要覧2025年版



### ↑ 家庭から出る二酸化炭素

令和5年度(2023年度)、ひとつの家庭から発生した二酸化炭素の量は、約3,608Kg。  
(出典：温室効果ガスインベントリオフィス)

## (2) 家庭から出ている二酸化炭素

二酸化炭素は、私たちの生活からも出ている。一人ひとりが二酸化炭素を減らす努力をしないと、地球温暖化を防ぐことはできません。毎日少しずつの心がけで、生活の中から出ている二酸化炭素を減らすことができます。

私たちの生活からどのくらいの二酸化炭素が出ているのか、考えてみましょう。



わたしたちの生活から出る二酸化炭素は？量を計算してみよう

テレビを1時間見た場合を考えよう。1時間で約0.08kWの電気をつかうとするよ。

電気 使用量  kWh ×  ※ =  Kg

※2023年度調整後排出係数（関西電力株式会社HP記載データの小数点以下3位を切り捨て）

## (3) 温暖化を防ぐためにできること

私たちの生活から出る二酸化炭素を減らすことは、地球の未来を救うことにつながっています。枚方市では、いろいろな取り組みを行っています。自分の暮らしの中で何ができるか考えてみましょう。

### ① 枚方市地球温暖化対策協議会

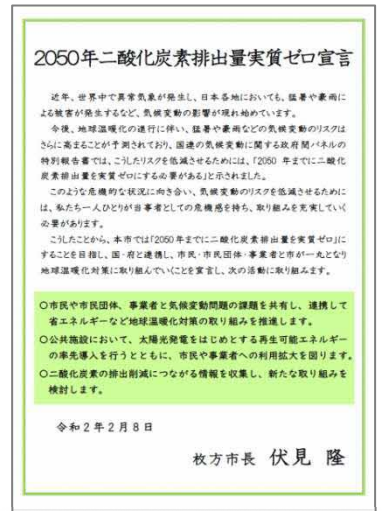
枚方市地球温暖化対策協議会は、市内の事業者と枚方市が協力して二酸化炭素などの温室効果ガスを減らすために、さまざまな取り組みを行う組織です。

温暖化防止対策を実施したり、事業所の省エネ化に取り組んだり、環境ブースの出展などで地球温暖化防止の啓発を実施しています。

## ② 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言

近年、大型台風や集中豪雨など地球温暖化が原因  
 と思われる気候変動の影響があらわれ始めていま  
 す。このような災害を減らすために、2050年までに  
 二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要  
 だと世界でしめされました。

そして、枚方市でも、太陽光をはじめとする再生  
 可能エネルギーの導入や省エネルギーなどの  
 地球温暖化防止につながる取り組みを強く進めよ  
 うと、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言を行  
 いました。



↑ 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言

## さんこう

### 気候変動

人間活動から出た温室  
 効果ガスによって地球の気温  
 が上がり気候が変化すること

## 枚方市の 取り組み

### 調べて参加してみよう。

枚方市では、みなさんに地球温暖化について知ってもらい、温暖化防止に取り組んで  
 もらうため、さまざまな取り組みをしています。



枚方市温暖化対策協議会が協力しているものもあります。

どんなことをしているのか調べて、ぜひ参加してみてください。

← (左) 環境広場 (右) 打ち水大作戦

## ③ 家庭でできる「デコ活」

「デコ活」とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と、活動・生活を表す「活」を組み合わせてつくられた新しい言葉です。生活の中でできそうな「デコ活アクション」(毎日の生活で行える、地球にやさしい行動)や、楽しくつづける方法をおうちの人と一緒に考えてみましょう。

## 「デコ活アクション」について

- 具体的な取組の事例として、3分野、計13種類の「デコ活アクション」を決定しました。
- 以下の事例に限らず、暮らしが豊かになり、脱炭素などに貢献していくものは、すべて「デコ活アクション」です。

分類	アクション	
まずはここから	住 デ	電気も省エネ 断熱住宅（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
	住 コ	こだわる楽しさ エコグッズ（LED・省エネ家電などを選ぶ）
	食 カ	感謝の心 食べ残しゼロ（食品の食べ切り、食材の使い切り）
	職 ツ	つながるオフィス テレワーク（どこでもつながれば、そこが仕事場に）
ひとりでのCO2 が下がる	住	高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ
	移	環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住	太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣	クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住	ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移	できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買	はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住	宅配便は一度で受け取る

### （4）エネルギー

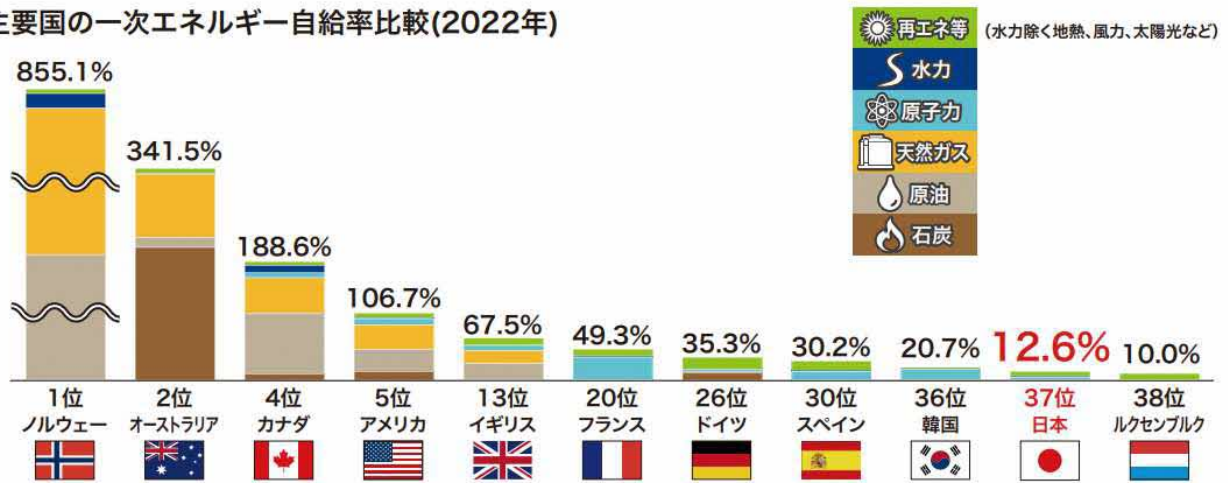
エネルギーはわたしたちの暮らしに欠かせないものです。昔から人間は、火を使って調理したり、風で船を動かしたりするなど、火や風のエネルギーを利用して暮らしてきました。

やがて、石炭・石油・天然ガスなどの化石燃料（動物や植物の死がいから地中で変化してできたもの）からエネルギーを得るようになりました。電気や鉄・紙などを作るのにも化石燃料が使われています。しかし、化石燃料を使う時に出る二酸化炭素などが、環境に大きな影響を与えています。

人間が工業を発達させ、便利なものをたくさん発明して社会を豊かにしてきた一方で、石油や石炭などの化石燃料を燃やすことで二酸化炭素が発生し、地球温暖化が進んできているのです。

# ① いろんなエネルギーとエネルギー自給率

主要国の一次エネルギー自給率比較(2022年)



出典：資源エネルギー庁「日本のエネルギー」 ※表内の順位は OECD38 カ国中の順位

エネルギー自給率とは、その国が使うエネルギーのうち、自分の国で作れている割合のことです。日本は、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料のほとんどを海外からの輸入に依存しており、他の主要国と比べても、自分の国で必要なエネルギーをつくらせている割合がとても低くなっています。

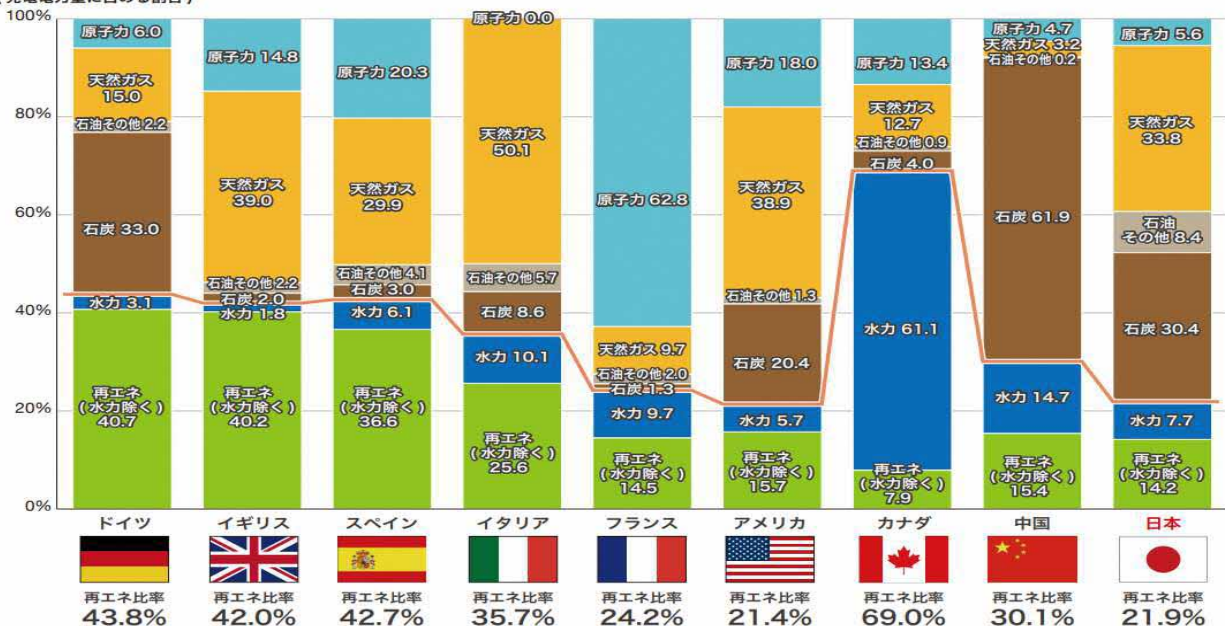
エネルギーを外国からの輸入に頼っていると、燃料の価格が上がったときに国内の物価が上がってしまったり、供給している国や輸送ルートで紛争や災害が起こったときに、十分な量を輸入できなくなり燃料不足になるおそれがあります。

# ② 電源構成

出典：資源エネルギー庁「日本のエネルギー」

主要国の発電電力量に占める再エネ比率の比較

(発電電力量に占める割合)



電源構成とは、どんな発電方法で電気をつくっているかを割合で示したものです。

現在の日本の主な発電方法は、火力発電です。再生可能エネルギーでの発電は約2割しかありませんが、地球環境を守り、外国の資源に頼らず安全で安定して発電するため、2040年度までに4～5割程度に引き上げることを目指しています。

エネルギーはわたしたちにとってなくてはならないものなので、国内でつくれるエネルギーを増やしていくことは、国の安全や安定した暮らしを守ることにつながります。

## (5) 再生可能エネルギーについて

再生可能エネルギーとは、自然の力を利用してつくるエネルギーのことです。二酸化炭素をほとんど出さない<sup>にさんかたんそ</sup>ので、地球温暖化を防ぐことができ、太陽や風などはなくなることはないため、ずっと使い続けることができます。また、外国の化石燃料を輸入しなくても発電できるため、エネルギー自給率のアップにもつながります。

主に、太陽光、風力、水力、バイオマス、地熱での発電があります。

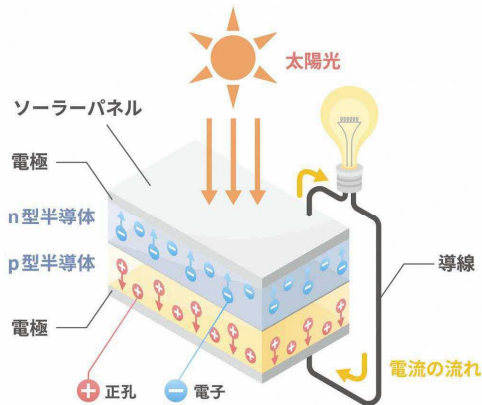
### 再生可能エネルギークイズ

- 日本で最初の再生可能エネルギーを使った発電方法は？  
A 太陽光発電 B 水力発電 C 風力発電
- 太陽光発電のパネルが黒い色をしているのはなぜ？  
A かっこいいから B 作る人の好きな色だから C 太陽の光を吸収しやすいから
- 風力発電の風車は、どこにつくるとたくさん電気をつくれる？  
A 海の近く B 街の中 C 田んぼの中
- 水力発電は、水がどこを通るときに力を使う発電方法？  
A トンネル B 滝やダムの下り坂 C 海
- バイオマス発電に使われるのは何？  
A 石油 B 宝石 C 植物や生ごみ
- 地熱発電は、地球の何を使う発電方法？  
A 南極や北極の氷 B 地中にある金 C マグマの熱

## クイズの答え

1. B 山や川が多い日本の地形に合っていたため古くから利用され、明治時代からあると言われています。
2. C 黒色は光を反射しにくく吸収しやすい色なので、たくさん電気をつくれます。
3. A 風力発電には、強い風がふき、まわりに風をじゃまするものがない場所が必要です。
4. B 水力発電は、水が高いところから低いところに落ちる力で電気を作る方法です。
5. C バイオマス発電は、生き物由来のものを燃やして発電する方法です。
6. C 地熱発電は、地球内部の熱を利用して発電する方法です。

では、再生可能エネルギーについて見ていきましょう。



資料提供：関西電力株式会社

## ① 太陽光

太陽光発電は、太陽の光がパネルに当たると、パネルの中の半導体<sup>はんだうたい</sup>が反応することで電気をつくる発電方法です。太陽光パネルは、住宅の屋根に設置されていたり、枚方市内の小学校や公共施設にもたくさん設置されています。少し変わった場所に設置されているものとしては、招提<sup>しょうだい</sup>新大池と今池などのため池（田んぼや畑のために水をためておく池）の水面にパネルを浮かべたものがあります。

通常、太陽光発電にはパネルを設置する広い土地が必要になり、土地を確保するために木を伐採<sup>ばっさい</sup>することで、環境破壊につながる心配があります。でも、ため池での発電では、水面に太陽光発電パネルを設置するので、新たに木を伐採<sup>ばっさい</sup>して広い土地を確保する必要がなく、生物の環境を守りながら発電することが可能です。また、パネルの温度が上がると発電効率が下がってしまいますが、水面の冷却効果でパネルの温度が上がりやすく、水面からの反射光も取り込めるため、地上に設置するよりも発電効率が良くなります。ため池にとっても、パネルがあることで太陽の光を<sup>さえぎ</sup>遮ることができ、農業に利用する大切な水が蒸発<sup>じょうはつ</sup>する量を減らせるというメリットがあります。

# ため池での太陽光発電



今池



招提新大池

枚方市のため池（招提新大池、今池）で発電された電力は、「ひらかたパーク」、「KUZUHA MALL（くずはモール）」で使われています。ひらかたパークについては、年間消費電力量で考えると、園内のすべてのアトラクションを再生可能エネルギーで稼働できるようになります。



↑（上）ひらかたパーク、  
（下）KUZUHA MALL（くずはモール）

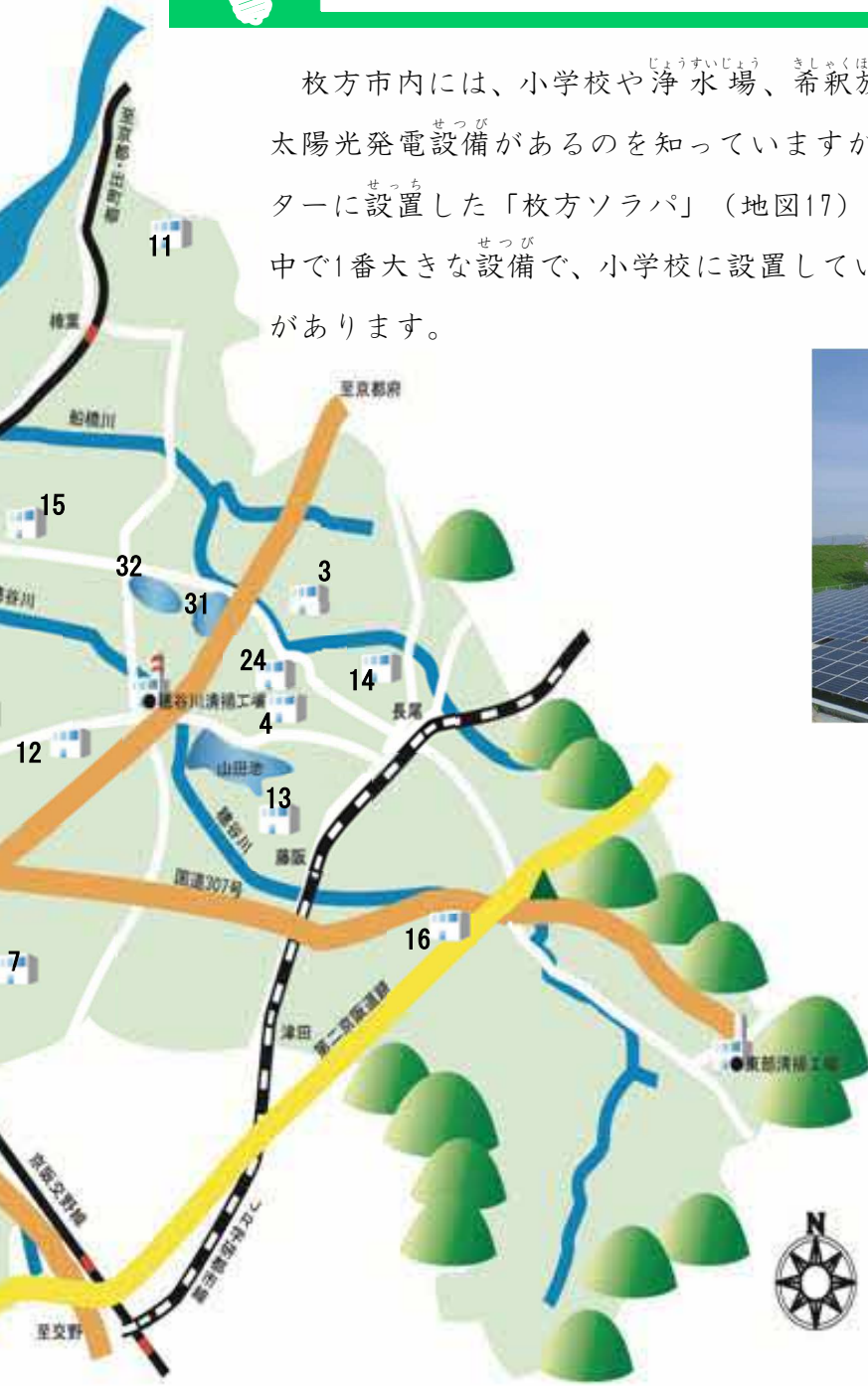


この取り組みは、農業で使っているため池を有効活用して太陽光発電を行い、二酸化炭素を減らすことと、水面を貸して出た収益をため池を保全するために活用できるものです。枚方市のため池でつくった電気を枚方市内で使っているのので、電気の「ちさんちしょう地産地消（地元でつくったものを地元で使うこと）」になっています。電気は、つくった場所から使う場所まで送るときに少しずつ失われてしまうので、送る距離が短い方が、電気がおだにならず、環境にやさしいということになります。



# こんなにたくさん！枚方市の太陽光発電

枚方市内には、小学校や浄水場、希釈放流センターなどに、太陽光を利用した太陽光発電設備があるのを知っていますか。その中でも平成25年に希釈放流センターに設置した「枚方ソラパ」（地図17）は、市役所が管理する太陽光発電設備の中で1番大きな設備で、小学校に設置している太陽光発電設備の約30倍の発電能力があります。



17 枚方ソラパ



23 禁野小学校

- |                  |                 |           |                      |
|------------------|-----------------|-----------|----------------------|
| 1 中宮浄水場・上下水道局管理棟 | 9 東香里小学校        | 17 枚方ソラパ  | 25 市立ひらかた病院          |
| 2 香里受水場          | 10 蹉跎西小学校       | 18 サプリ村野  | 26 枚方保育所             |
| 3 北山配水場          | 11 樟葉北小学校       | 19 小倉小学校  | 27 輝きプラザ きらら         |
| 4 田口山配水場         | 12 山田東小学校       | 20 磯島小学校  | 28 市立ひらかた子ども発達支援センター |
| 5 南部生涯学習市民センター   | 13 藤阪小学校        | 21 西牧野小学校 | 29 香里ヶ丘図書館           |
| 6 やすらぎの杜（火葬場）    | 14 長尾小学校        | 22 蹉跎東小学校 | 30 総合文化芸術センター        |
| 7 桜丘北小学校         | 15 第三中学校        | 23 禁野小学校  | 31 ため池（招提新大池）        |
| 8 開成小学校          | 16 第二京道路環境監視局津田 | 24 西長尾小学校 | 32 ため池（今池）           |

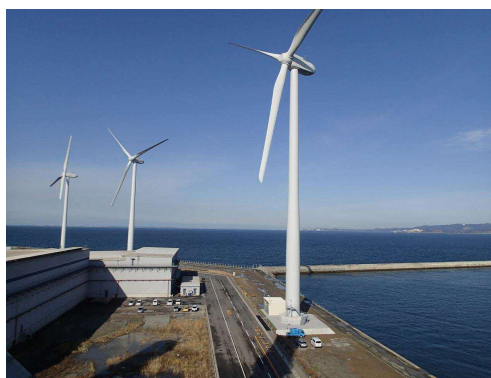
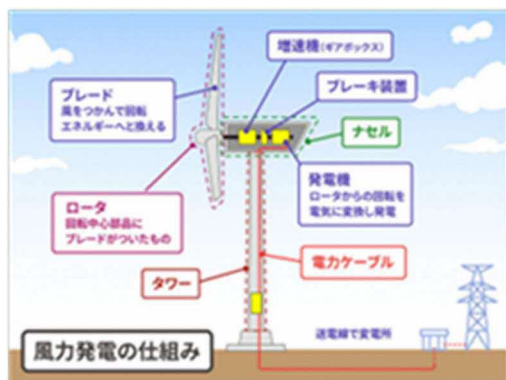
4年生

5年生

6年生

## ② 風力

資料提供：関西電力株式会社

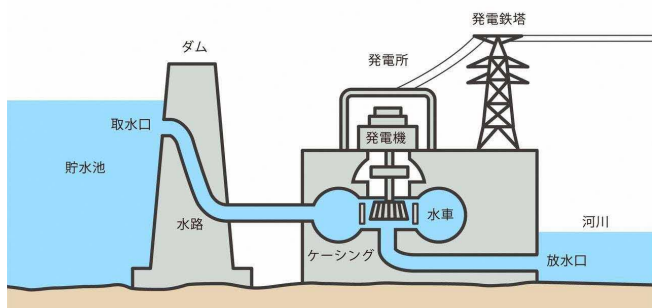


田原 4 区風力発電所

風力発電は、風の中で風車の羽根を回して、風車の中にある発電機が回ることで発電する方法です。風車は高さはありますが、細いので、風車の下を農地として利用するなど、土地を効率的に利用でき、風がふく限りずっと発電できます。技術の進歩によってコストが下がってきたこともあり、ヨーロッパでの導入事例は増えてきていますが、風が安定して強くふく平らな場所が必要なため、山が多い日本では、設置できる場所は多くありません。

そんな中、近年注目されているのが、洋上風力発電です。その中でも、浮体式洋上風力発電では、風車を海底に固定せず、海に浮かべてロープや重りで海底につなぎます。水深が深い海でも設置できるため、海に囲まれた日本でも拡大できる可能性があるとして期待されています。

## ③ 水力

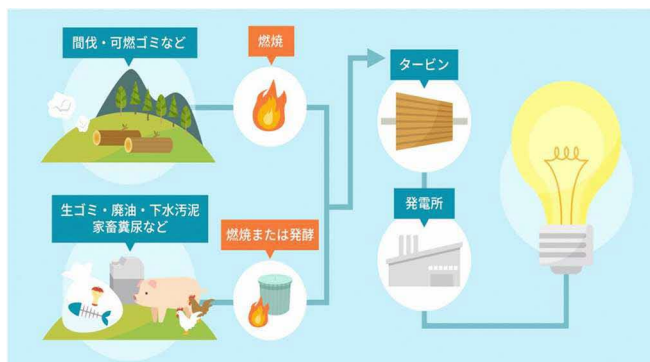


資料提供：関西電力株式会社

水力発電は、山やダムに水をたくさんためて流すことで、水が高いところから低いところに落ちる力で羽根車（タービン）を回し、タービンが発電機を回して発電する方法です。

ダム等の建設には大きな工事が必要のため、<sup>しよきひよう</sup>初期費用が高額になることと、環境への影響が課題ですが、エネルギーの<sup>へんかんこうりつ</sup>変換効率（エネルギーをどのくらい電気に変えられるかの割合）が80%程度あり、効率良く発電できる方法です。

#### ④ バイオマス

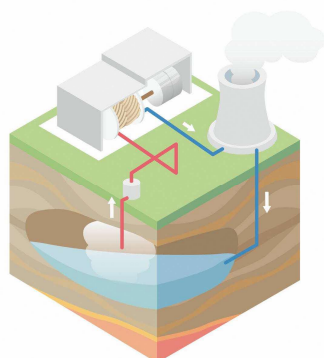


写真提供  
株式会社ピッコロ社

資料提供：関西電力株式会社

バイオマス発電とは、植物や生ごみなど生き物由来のものを燃やして発電する方法です。生ごみなど捨てるものから電気をつくることができ、燃やしたときに出る<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素は、植物が成長するときに吸収した<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素を放出したと考えると、<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素の増減はゼロに近い<sup>のうど</sup>ため、<sup>にさんかたんそ</sup>二酸化炭素の濃度は上がりません。枚方市の<sup>せいそう</sup>清掃工場では、ごみを燃やして発生した<sup>はい</sup>排ガスの<sup>ねつ</sup>熱を<sup>りよう</sup>利用し、ボイラーで<sup>すいじょうき</sup>水蒸気を発生させ<sup>じょうき</sup>蒸気<sup>せいそう</sup>の力で電気をつくり、発電した電気は<sup>せいそう</sup>清掃工場内で使うほか、電力会社に売っています。さらに、発生した<sup>はい</sup>排ガスの<sup>ねつ</sup>熱を使って、工場内で使うお湯を作っています。

#### ⑤ 地熱



資料提供：関西電力株式会社

地熱発電とは、地中（地面の下）から熱水や蒸気を取り出し、その蒸気でタービンを回して発電機を動かして発電する方法です。他の発電方法に比べて地下調査や開発に時間と費用がかかり、場所が国立公園や温泉地であることが多く開発を進めにくい場合があるため、導入はあまり進んでいません。しかし、天候や時間帯に関係なく安定して発電でき、火山が多い日本にとっては今後拡大が期待できる発電方法です。

## (6) その他 再生可能エネルギーを有効に活用するために

再生可能エネルギーを安定的に活用していくためのものとして、蓄電池と揚水発電があります。

蓄電池とは、充電することで電気をためることができ、くり返し使える電池のことです。身近なものには、スマートフォンやノートPCなどのバッテリーがあります。再生可能エネルギーでの発電は、自然のエネルギーを使っているため、どうしても、天候などによって発電できる量が変わってしまいます。蓄電池は、使う量よりも多く発電したときに、使いきれない電気をためておいて、足りなくなったときに使えるようにするためのものです。

また、揚水発電も近年注目されています。揚水発電とは、夜間の余った電気で揚水ポンプを動かして水をくみあげておき、電気がたくさん必要になる昼間に落下させることで電気をつくる方法です。電力を調整して安定供給を支え、再生可能エネルギーの電気を蓄えて必要なときに供給する「蓄電池」の役割を果たしていると言えます。

どちらにも課題はありますが、再生可能エネルギーの活用をすすめるにあたり、重要な役割を果たすことが期待されています。

資料提供：関西電力株式会社

奥多々良木発電所（国内最大出力の揚水発電所）



紀の川蓄電所

揚水発電のしくみ図



## さんこう

### じぞくかのう 持続可能

わたしたちのまわりだけではなく、ほかの国の人たちも未来にわたってよりよく暮らせること。

### かいほつもくひょう 開発目標

ごはんが食べられない、学校や病院に行けない、自由に意見が言えない、などをなくして、みんなが安心・満足に暮らせるようにすること。

## じぞくかのう かいほつもくひょう エスディーズ (7) 持続可能な開発目標 (SDGs)

すべての人々にとってより良い世界を作るため、世界の国々の政府は私たちの地球にとって一番大切な目標について話し合いました。そして、多くの人々や組織が協力し、17の「持続可能な開発目標 (SDGs)」が決められ、より良い生活を送ることができる世界を目指して、世界中が努力することが約束されました。2030年に向けて、世界中が同じ目標の達成に取り組んでいます。地球環境をこわさずに、未来につなぐことについても、いくつもの目標が設けられています。

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての人々が病院に行けるようにすること</li> <li>● 災害などの突然の変化の影響を減らし、立ち直る力を高めること</li> </ul>	<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全で栄養のある食材が1年中手に入るようにすること</li> <li>● 干ばつや洪水などを予防すること</li> </ul>
<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤ちゃんや子どもが防げる理由で亡くなることのないようにすること</li> <li>● 交通事故の死亡やけが人を半分にすること</li> </ul>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての人々が小学校・中学校の教育を受けられるようにすること</li> <li>● やりたい仕事に向けて学べるようにすること</li> </ul>
<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性が世界中どこでも男性と同じ権利を持つようにすること</li> <li>● 家の仕事も価値のある仕事と認められること</li> </ul>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての人々が安全な水を使えるようにすること</li> <li>● 下水処理やごみ処理などの衛生設備が整った暮らしができること</li> </ul>
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーを世界中で使えるようにすること</li> <li>● 暮らしに使うエネルギーをもっと減らすこと</li> </ul>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界中の人々が安全でやりがいのある仕事をできるようにすること</li> <li>● 子ども兵士の問題を解決すること</li> </ul>

## 9 産業と技術革新の基盤をつくろう



- 世界中でインターネットが使えるようにすること
- 災害に強い水道・電気・ガス・鉄道などを作り暮らしを守ること

## 10 人や国の不平等をなくそう



- 世界中で差別がなくなるようにすること
- ちがう国でくらさなければならぬ人が守られるようにすること

## 11 住み続けられるまちづくりを



- まちづくりの話し合いに地域の人々が参加できるようにすること
- 安全で使いやすい公共交通機関をつくること

## 12 つくる責任 つかう責任



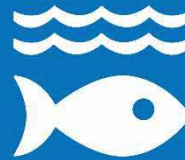
- 世界全体で捨てられる食べ物をなくすこと
- 4Rを通して、不要になって捨てられたものを減らすこと

## 13 気候変動に具体的な対策を



- 人々が出す温室効果ガスによって地球の温度があがるのを防ぐこと
- これまでとちがう災害にきちんと備えること

## 14 海の豊かさを守ろう



- 人により海が汚れることをなくすこと
- 魚の取りすぎの防止や守るべき海の資源をきちんと保護すること

## 15 陸の豊かさも守ろう



- 森林破壊を減らして木を植えること
- 動物や植物をかってに捕まえたり売ったりするのを防ぐこと

## 16 平和と公正をすべての人に



- 暴力や暴力による死をなくすこと
- 全ての人がどこの国でも平等に司法を利用できるようにすること

## 17 パートナリシップで目標を達成しよう



- 全ての国が目標の達成に向けて助け合うこと
- SDGsの達成に向けて取り組んでいる組織や人と協力すること

### 調べてみよう

SDGsの目標を達成するために、さまざまな取り組みをしている企業があるよ。どのような取り組みをしているのだろう。

SDGs 取り組み 企業

## (8) わたしたちにできること

SDGsの17の目標は、バラバラに設定されているのではなく、それぞれがしっかりとつながりあっています。

国や世界が成長するためには、一人ひとりが大切にされ安心して生きることができる社会が必要です。

安心できる社会を作るためには、豊かに生きることができるための自然が必要です。

そして、どの目標のためにも必要なことは、世界中が協力し、助け合うことです。

より良い生活を送ることができる世界のために、土台である自然を大切に、おたがいに協力できるように、わたしたちができることを考えていきましょう。

より良い世界の土台となっている「生物のこと」「自然について」の目標。私たちにできることはどんなことがあるでしょう。

- 安全な水を守るために … 水を大切に使う (p27~32)
- 地球温暖化を止めるために … 電気を使いすぎない (p39~51)
- 海をよごさないために … ポイ捨てをしない (p15~16)
- 生き物たちの「バランス」を守るために  
… 身の回りにいる生き物たちのことを知る (p18~26)  
ほかにできることはあるかな、話し合ってみよう。

### アースオーバーシュートデー

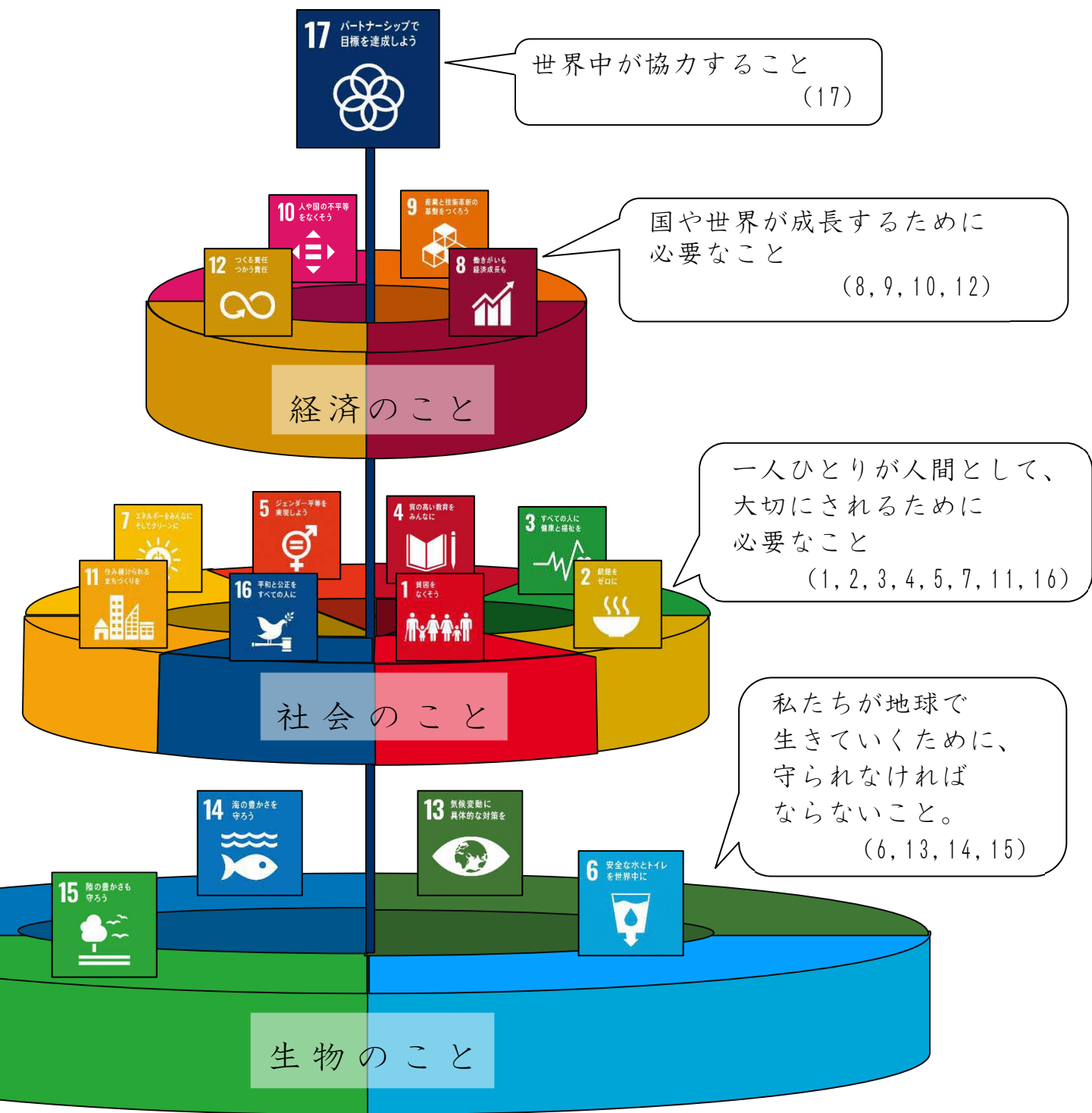
「アースオーバーシュートデー」とは、地球が1年間で作ることができる食料や木材などの資源を、年初から数えて人類が使い果たす日のことです。

50年以上「資源の使いすぎ」の状態が続いていて、2025年のオーバーシュートデーは7月24日。

つまり、私たちは5か月以上、次の年の分の資源を借りて暮らしていたこととなります。

オーバーシュートデーをおくらせ、1年分の資源で生活する「地球1個分の暮らし」。実現するために私たちができることは何でしょうか。

原因は資源の使いすぎ。資源のむだ使いをしていないか見直そう。



## やってみよう

## 参加してみよう

枚方市では、みなさんが参加できる色々な取り組みを行っています。  
行われている取り組みを調べて参加し、SDGsのゴールを目指しましょう。

自然観察会→



打ち水大作戦→



みどりのカーテンモニター→



# 遊

# びながら学ぼう

## 交通タウンマップやすごろく

環境にやさしいバスや電車などの公共交通機関のことを「ひらかた交通すごろく」で学び、バス停の場所がわかる便利な「ひらかた交通タウンマップ」を使って、公共交通機関をみんなで利用しよう。

(問) 枚方市 交通対策課



## ふるさと絵図

環境にやさしい暮らしは、ずっと昔から工夫されてきました。昭和 30 年代の枚方の風景を描いた「ふるさと絵図」が岡本町会館に展示されています。昔ながらの暑さをしのぐ「暮らしの知恵」を学んで、取り組んでみよう。

(問) 枚方市 環境政策課



## 環境情報コーナー

サプリ村野(枚方市村野西町 5-1)の南館にある「環境情報コーナー」では、環境に関する情報を発信しています。自転車発電やエコドライブシミュレーターを使って、環境について楽しく学ぶことができます。

その他にも、枚方市にすむ魚や昆虫標本の展示、環境に関する情報のパネル展示、おうちの電気使用量や二酸化炭素を出した量がわかる省エネナビの貸出など、夏休みの自由研究などに役立つものがたくさんあります。



開館時間: 平日午前 10 時~午後 4 時(※夏休み期間は毎日午前 10 時~午後 5 時半)

# 学 校 園 環 境 表 彰

枚方市では、環境<sup>かんきょう</sup>についての取り組みが特に優<sup>とく</sup>れていて、市のモデルとなる学校園を「市長賞<sup>しやうしょう</sup>」、取り組みが優<sup>ひょうしょう</sup>れていて他の学校園のモデルとなる学校園を「教育委員会賞<sup>ひょうしょう</sup>」として表彰します。令和7年度に市長賞および教育委員会賞を受賞<sup>じゅうしょう</sup>した学校園の取り組み内容を紹介<sup>しょうかい</sup>します。

## 市長賞 磯島小学校

竹林問題に関わる方々との共同学習や、竹楽器や竹花壇づくりなどの制作に取り組み、放置竹林の問題について学びました。また、工場見学を通じて、枚方市の環境を整備するために、様々な人たちが協力して活動していることを学習しました。



## 教育委員会賞 小倉小学校

ジップロックを使った堆肥づくりや、古着回収を実施しました。また、プールの中にあるヤゴを救出して家で飼い、成長の観察をしたり、畑にシートを引いて田んぼを作って、田植えから脱穀機を使っての脱穀までを体験しました。身近なところから、環境について学ぶ機会になりました。



## 市長賞 蹉跎中学校

1年生の校外学習で、自然の中でのウォークラリーやカレー作りを行い、2年生の校外学習で春日山原始林に行き、3年生の修学旅行では植樹体験をしました。3年間の取り組みを通じて、自然の豊かさや、自然を守ることの大切さを学びました。



## 教育委員会賞 長尾西中学校

本校にはボランティア部があり、校内だけでなく校外周辺の清掃活動に取り組んでいます。回収したゴミは、生徒会本部役員が中心となって分別をおこない、適切に処分するところまで取り組みました。

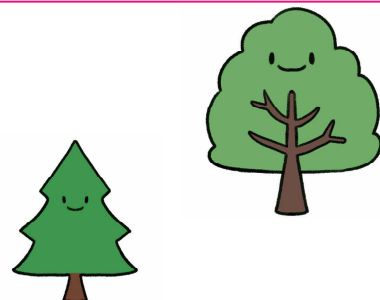


## 市長賞 田口山幼稚園

園児たちが野菜の苗を植え、水やりや草抜きをしながら育てた野菜で、全園児で役割分担をしながらカレーを作り、会食しました。苦手な野菜にチャレンジしたり、野菜の名前を覚えるなど、子どもたちの「食」への興味関心を育む機会にもなりました。



※令和7年度から、幼稚園は市長賞か教育委員会賞のどちらか1園のみの選出になっています。



4年生

5年生

6年生